
IT システム可視化協議会（MCIS）、見積りソン FY26（夏）を 9 月 10 日に開催 ～同じ仮想 RFP に対する見積り・提案を比較し、見積り妥当性を検証 する参加型実証イベント～

IT システム可視化協議会（MCIS）は、仮想の RFP（提案依頼書）に対する見積り・提案をチーム対抗で行う参加型イベント「見積りソン FY26（夏）」を、2026 年 9 月 10 日（木）に THE LINKPILLAR2（東京都港区高輪）にて開催することをお知らせします。

見積りソンは、同じ仮想 RFP に対して参加者が見積り・提案を行い、見積り前提、対象範囲、機能規模、リスク認識、説明内容の違いを比較・検証する実証イベントです。見積金額の高低を競うことが目的ではなく、限られた時間の中で何を前提とし、どこまでを見積り範囲に含め、どのリスクをどう説明するかを確認することで、発注者・受注者双方が見積り妥当性を判断する観点を得ることを目的としています。

同じ RFP に対しても、チームによって見積り前提や対象範囲、リスクの説明内容には差が生まれます。見積りソンでは、この差を可視化・比較することを通じて、発注者側は委託先見積りの確認・評価の視点を、受注者側は自社の見積り・提案説明力を客観視する機会を得ることができます。

参加は非会員も可能です。非会員として参加した方は、見積りソン参加後、MCIS 活動にトライアル会員として一定期間参加いただけます。会合・SIG・成果物等に触れ、MCIS の活動内容を確認したうえで、正会員への入会を検討いただけます。

MCIS では、今後も見積りの妥当性検証や実務者育成に資する実証イベントを継続して開催し、IT 投資・システム開発に関する意思決定の高度化に貢献してまいります。

■このような方におすすめです

- ・委託先から提示された見積りの妥当性を判断する立場の方
- ・RFP、要件定義、ベンダー選定、IT 投資判断に関わる方
- ・提案・見積りの説明力を高めたい受注者側の方
- ・開発規模、前提条件、リスクを踏まえた見積りを学びたい方
- ・品質管理、PMO、IT コンサルティングの立場で提案評価に関わる方

■参加対象別の期待効果

見積りソンでは、仮想 RFP に対する見積り・提案をチームで行います。同じ条件に対して各チームがどのように前提を置き、範囲を定め、リスクを説明するかを比較することで、立場に応じた気づきを得ることができます。

- ・発注者側：委託先の見積り妥当性や、ベンダー選定時の確認観点を得られます。
- ・受注者側：自社の見積り前提、提案内容、リスク説明の妥当性を確認できます。
- ・品質管理・PMO・コンサル側：見積り・提案内容を評価する観点を確認できます。
- ・共通：他チームとの比較を通じて、見積金額だけでなく、前提条件、対象範囲、リスク、説明内容を比較する実務的な視点を得られます。

■開催概要

イベント名：見積りソン FY26（夏）

開催日時：9/10(木) 10:00～20:30（受付開始 9:30）

場所：THE LINKPILLAR2 15 階（日本システム技術株式会社 東京オフィス）

参加形態：チームエントリー（2 名以上）／個人エントリー（当日は複数団体の混合チームとなります）

定員：10 チーム、30 名程度（申込先着順）

参加費：MCIS 会員は無料、非会員は 10,000 円（1 名あたり）

申込期限：2026 年 8 月 27 日（木）17:00

資料の取り扱い：当日使用する RFP 等の資料は MCIS 指定の Box 環境上で参照いただきます（ダウンロード・複製・再配布不可）

詳細・お申込みページ：<https://www.mcis-jp.org/event-details/mitsumorison-fy26-summer>

【団体概要】

団体名： IT システム可視化協議会（MCIS）

代表者名： 会長 林 光信

所在地： 東京都中央区銀座一丁目 22 番 11 号 銀座大竹ビジデンス 2F

活動内容： IT システム可視化協議会（MCIS）は、1994 年に設立された JFPUG（日本ファンクションポイントユーザー会）を起源とする団体です。システムの定量化・可視化を通じて、IT 投資意思決定の高度化を推進しています。

URL：<https://www.mcis-jp.org/>